

特集

次世代につなげる 妊婦の栄養指導

厳しい体重増加制限のもたらす危険性

日本では新生児の約10人に1人が低出生体重児です。出生体重が小さいと、成人後に糖尿病などの生活習慣病を含めた成人病や精神疾患を発症するリスクが高いことが明らかとなっています。そのため、出生体重低下の流れを阻止することは、社会全体で取り組むべき日本の最重要課題と言えます。海外では、妊婦栄養の改善こそが、成人病の発症を予防する極めて重要な基本であるとして、大掛かりな研究が推進されています。本特集が、妊婦栄養について考えるきっかけになれば幸いです。

